

事例発表

“わたしたち”と図書館 ～図書館応援団の活動報告～

発表団体：ちえの森応援隊（智頭町）

岡田 美恵子 氏

山本 博崇 氏

日野町図書館友の会（日野町）

松田 暢子 氏 ※オンライン参加

宮田 明 氏 ※オンライン参加

江府町図書館友の会（江府町）

前川 仁三夫 氏

南部町立図書館応援団なんぶらりー（南部町）

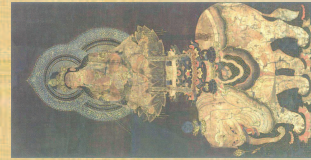
毎川 秀巳 氏 ※レジュメはありません

“わたしたち”と図書館 図書館応援団の活動報告

ちえの森応援隊（智頭町）

第31回 鳥取県図書館大会
令和8年7月30日

ちえの森応援隊（智頭町）



鳥取県の国宝
「楠木書色 智頭町蔵」

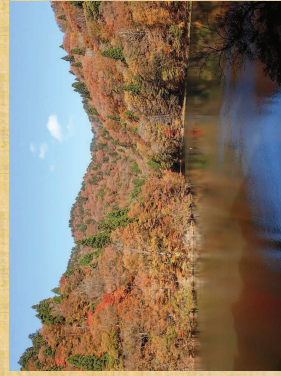
日本でも珍しい、杉を
柱にした「杉柱」



国指定重要文化財
「石谷家住宅」



鳥取県の国宝
「楠木書色 智頭町蔵」



国定公園
「戸津深谷」



風景の国宝ともいえる
重要な文化的景観に、林
業分野としては日本で
初の「智頭の林業景
観」として認定。

ちえの森応援隊（智頭町）

私たちの「応援」する、ちえの森ちづ図書館は令和2年（2020年）11月29日に開館しました。
開館に至るまで、平成29年（2017年）8月を皮切りに8度にわたる住民ワークショップが開催され、
様々な意見や要望が提案されました。



もともと智頭町総合センター内に
あった、智頭町立智頭図書館のボラ
ンティア団体「図書館を考える会」
からもワークショップに参加し、
開館に合わせて「ちえの森応援隊」
と名称変更、加えて会員を広く募
りました。



ちえの森応援隊（智頭町）



県の南東部に位置する智頭町は、面積の
93%を森林が占め、林業が盛んな地域です。
古来、交通の要衝として栄え、鳥取から姫
路方面へ向かう「因幡街道」、岡山方面へ
向かう「備前街道」が交わり、江戸へ向か
う参勤交代の第一の宿場町でもありました。
読みがなは、町内の行政では「ちづ」と表
記し、その他は「ちず」と表します。
人口は5,822人（令和8年5月現在）、面積
は224.70km²。人口密度は、25.9人/km²。

第2回 住民ワークショップ

日時 平成29年12月31日（日） 午後1時～4時20分
場所 智頭町民センター 大集会室

参加者 45名

- ・町長 1名（18時～19時）
- ・アドバイザー 2名（18時～19時）
- ・スタッフ 12名

○ 第2回住民ワークショップの振り返り



○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

○ 第2回住民ワークショップの振り返りについて報告

第3回 住民ワークショップ

日時 平成30年9月17日（月・金） 午後1時～4時15分
場所 智頭町民センター 大集会室

参加者 45名

- ・町長 1名（18時～19時）
- ・アドバイザー 2名（18時～19時）
- ・スタッフ 12名

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

第8回 住民ワークショップ

日時 令和2年7月12日（日） 午後1時～3時
場所 智頭町民センター 大集会室

参加者 45名

- ・町長 1名（18時～19時）
- ・アドバイザー 2名（18時～19時）
- ・スタッフ 12名

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

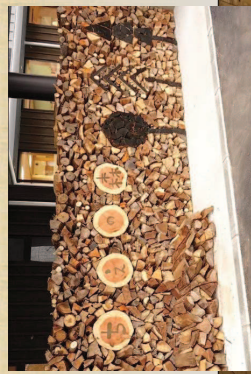
○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

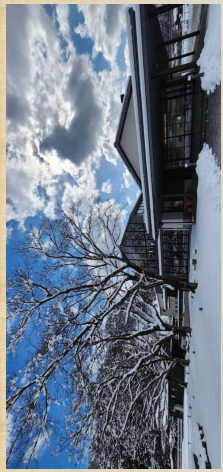
○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ

○ こけぼり、こけぼりワークショップ



智頭の山人塾の「新緑の体験」



ちえの森応援隊は、活動に伴う「正会員」と活動に伴わない「賛助会員」とで構成されています。
現在正会員26名、賛助会員13名となっています。
主な活動は、

- ①月に一度の図書館清掃ボランティア
- ②毎年11月に開催する開館記念イベントの企画・運営
- ③近隣図書館の視察研修
- ④有志による花壇の手入れや建物周辺の除草作業
- ⑤図書館主催イベントのスタッフ参加

などがあります。



ちえの森応援隊（智頭町）

①月に一度の図書館清掃ボランティア

6月から9月を除く各月は月末整理日（最終木曜日）の10：00～11：00、6月から9月は最終日曜日の開館前8：30～9：30まで、館内の清掃や書棚の整頓、館外の清掃や書棚の整頓、館外の清掃や除草作業などを行っています。



ちえの森応援隊（智頭町）

②11月の開館記念イベントの企画・運営

ちえの森ちづ図書館がオープンした11月に合わせ、毎年11月に開館記念イベントを行っています。これまでのイベントは以下の通りです。

- ・「音楽と本のコンサート」（1周年）
- ・「さあ、一緒に童謡唱歌の世界へ」（2周年）
- ・「図書館にうれしい、たのしいがいっぱい」（3周年）
- ・「劇場版 荒野に希望の灯をともし上映会」＆「金平茂紀氏講演会」（4周年）
- ・記念講演会「ささえあう図書館～最近の図書館をめぐる話題から～」＆「マジックショー」（5周年）



ちえの森応援隊（智頭町）

③近隣図書館の視察研修

10月頃、図書館職員さんとともに日帰りでできる範囲での図書館視察を行っています。

ちえの森ちづ図書館ができるまでは、新図書館の着想を得、できてからはより利用しやすい図書館にするためにできることはないか学んでいます。

以下、図書館オープン後に訪問した図書館です。

- ・鳥取県ライトハウス点字図書館
- ・境港市民図書館
- ・奈義町立図書館
- ・真庭市立中央図書館
- ・南部町立図書館 法勝寺図書館
- ・ことひらまちじゅう図書館



ちえの森応援隊（智頭町）

④有志による花壇の手入れや建物周辺の除草作業





図書館の利用促進

- まだ図書館を訪れることに気後れする住民も多く、気軽に足を運んでもらえるような後押し。

会員数の伸び悩み

- 年に1名程度しか増加が無く、このままだと減少が見込まれる。

活動の固定化

- 例年同じような活動しかしておらず、新たな取り組みも必要。

図書館をみんなのサードプレイスに ～友の会再結成から1年～



鳥取県図書館大会

2026.7.30

日野町図書館友の会

いままでの図書館友の会

1995～2015頃まで 第1期

▶ 第1期 図書館友の会

* 図書館まつりの計画・参画

・ 木のおもちゃ作り・パソコン困りごと相談
手作り教室・おはなし会スペシャル

* 図書整理・環境整備の手伝い

・ 古本市の準備・庭木の剪定など

⇒ 自主的に集まるといふより図書館が声をかけて
会長は、初代館長 各グループとの連携

日野町の現在

鳥取県日野郡 日野町

1995年図書館開館当初
(31年前)
人口: 4,920人
高齢化率: 約29%

2026年4月
人口: 2,530人
高齢化率: 約54%

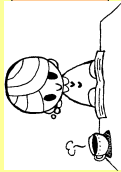
2040年は
1,731人?



図書館で活動するグループ いろいろ



・ 木のおもちゃづくり・おはなしくれよん
・ 朝読書ボランティア・ジュニアスタッフ
・ 親子でアートを楽しむ会「おひさま」



図書館で活動するグループ いろいろ



- ・俳句教室・あたまイキイキ音読教室
- ・たんぽぽの会・ジュニアスタッフ
- ・「白つじの会」生田長江顕彰会
- ・夜のおしゃべり図書館(友の会)



夜のおしゃべり図書館で

地方創生のアイデア募集(H27年度)

～みんなで見聞を出し合って～

★図書館をより魅力的に……**ぴのカフェ**

★潜在的用户者の発掘

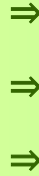
まちじゅう図書館構想⇒**よらいや図書館・おでかけ図書館**



休眠状態になった理由は？

- * いままでの成り立ち
- ・ 友の会の自主的な集まりというより
図書館から声をかけて集まってもらった
- ・ 横のつながりがあまりなかった
- ・ コロナで「夜のおしゃべり図書館」も休止
- ・ みんなで集って図書館のことを話す機会がなくなった

「図書館が好き」「図書館をもっとよくしたい」
いう同じ目的で集う機会が必要



★2025 図書館開館30周年が再結成のチャンス

第2期 図書館友の会発足へ…… ～開館30周年をみんなで祝おう～

2024年11月 発起人4人で呼びかけチラシ作成
* 図書館友の会の組織化～同じ目的を持つ仲間づくり～

- まずは、気軽に集う場づくりから
- ・ 無理のないゆる～くつながる友の会
- ・ 広く他の図書館友の会のよいところを知ること
- ・ 提言もできる組織に

2025年3月 第1回図書館友の会開催 会員20名
ワークショップ ①日野町図書館のいいところ

②もっと図書館に来てもらうには

③開館30周年にやってみたいこと

2025年4月 第2回図書館友の会開催

- ・ 30周年イベントの内容決定

2025年5月 第3回図書館友の会開催

- ・ 30周年イベントの準備

日野町図書館友の会とは？

* 趣旨 *

- ・日野町図書館を多くの人が心地よく利用できるよう、個人・各グループがゆるく連携し、つながりあい協力して、応援していこうという会です。
- ・子どもから大人まで、図書館を応援したい人はだれでも会員になれます。会費は無料。
- ＊主な活動＊～参加は自由です～
- ・図書館まつり等イベントの協力・図書館中庭などの環境整備
- ・ぴのカフェの運営・図書館視察、他の図書館友の会とのネットワーク、図書館などの視察
- ・古本市・おしゃべり図書館・おはなし会など本や人との出会いの場づくり

◎まずは、みんなです30周年のお祝いをしよう!!

開館30周年「図書館まつり」6/1～30 図書館と友の会共催

○事前準備

- ・お祝いのお菓子づくり
(青パパイヤ入りパウンドケーキとフロランタン)
- ・館内の飾りつけ
(旗がーランド・習字「30周年おめでとう」)
- ・中庭など環境整備・カフェ(コーヒーなど)
- ・1箱古本市の準備



6月1日(日)
まで24時～

オープニング

開館30周年イベント

『恵比寿さんと大黒さん』 鳥取荒神楽研究会

＊「青パパイヤ入りパウンドケーキとフロランタン」
プレゼント (図書館友の会特製)

記念講演＆座談会「支え合う図書館」

鳥取県立図書館 小林隆志さん・高橋真太郎さん

＊これからの図書館についてお茶を飲みながら、みんなで話そう
(挽きたてコーヒー100円)

★期間中 「日野町図書館のあゆみ展」展示コーナー
ぴのカフェ 古本市

6月21日 図書館友の会一日企画

「はたらくくるま」「夜のおしゃべり図書館」ほか

★7月29日 長谷川義史さんの絵本ライブ

主催 日野町図書館 図書館友の会

★本を借りて「30周年記念バッグ」をもらおう! (先着250人)

開館30周年「図書館まつり」 6/1 オープニングイベント

- ・荒神神楽「恵比寿さんと大黒さん」福の種まき
- ・県立図書館 小林さん高橋さんのお話「支え合う図書館」



- ・図書館30年のあゆみ展 ・30周年記念の図書館バッグ
- ・自分史講座・絵本作家 長谷川義史さんの絵本ライブ
- ＊古本市・カフェ 期間中

開館30周年「図書館まつり」 6月21日は友の会主催の一日企画

- * 図書館おはなし会 おはなしくれよん
- * はたらくるま 黒坂警察署からパトカーと制服
- * 夜のおしゃべり図書館 作家を囲んで読書会 松本薫さん



★期間中 古本市 ぴのカフェ

友の会のこれから

- 【現在の状況】現在の会員数 40人
- 通信の発行 ○ぴのカフェ運営 ○中庭の花植え
 - 会費 無料(カンパ有) コーヒー売上、古本市収益
- 【今後の活動】
- 偶数月の第1土曜日または日曜日に定例会
 - 「おしゃべり図書館」開催、古本市、図書館視察等

ホールと図書館 複合施設のメリットも生かして
職員体制はしっかりと、車の両輪のごとく

***図書館が好きな仲間づくり～次の世代へ～**

- ・図書館の主人公は住民 図書館は民主主義の砦
- 高齢化・人口減の危機・・・図書館の危機

2025 11/5～29 秋のイベント

- ・ 11月22日「おしゃべり図書館」

★ 宮田明のほろよい読書

小学生のころから読書が好きで幅広いジャンルを読み読書日記を書いている宮田さん。数年前からブログで本の雰囲気にあわせてお酒を選び、あらすじと一緒に投稿している。その中から一部を紹介。

★2025 わたしのベスト本

参加者のお気に入りの本を紹介し合うコーナー。

いろいろなジャンルの本に出会えて好評だった。

* 企画中、春に続き、古本市も開催。

一冊100円 4,600円の売り上げ

* カフェコーナー中庭の花の植え替えも実施



8月2日(日) 山陰夏の本まつり開催

- ・ 山陰各地の古本屋さん 14店舗が勢ぞろい
- ・ 古本(一部新刊もあり)との一期一会をお楽しみください。

【出店】

- ・ ピザなどのキッチンカー、
- ・ 地元の山菜おこわ
- ・ 町の土産物
- ・ かき氷、コーヒーなど
- * スタンプラリー
- * 本のおもちゃで遊ぼう
- 魚釣りコーナー

◆主催 日野町図書館友の会

令和8年8月2日(日)
10:00～14:30
日野町山村コミュニティセンター・大集会室

山陰各地の古本屋さんは地元の目録帳に大集合！
お気に入りの一冊、一冊をお楽しみください！

【出店】
①あすなろ書店 (鳥取市)
②山陰古本屋 (鳥取市)
③カワエキタナ (鳥取市)
④山陰古本屋 (鳥取市)
⑤山陰古本屋 (鳥取市)
⑥山陰古本屋 (鳥取市)
⑦山陰古本屋 (鳥取市)
⑧山陰古本屋 (鳥取市)
⑨山陰古本屋 (鳥取市)
⑩山陰古本屋 (鳥取市)
⑪山陰古本屋 (鳥取市)
⑫山陰古本屋 (鳥取市)
⑬山陰古本屋 (鳥取市)
⑭山陰古本屋 (鳥取市)
⑮山陰古本屋 (鳥取市)
⑯山陰古本屋 (鳥取市)
⑰山陰古本屋 (鳥取市)
⑱山陰古本屋 (鳥取市)
⑲山陰古本屋 (鳥取市)
⑳山陰古本屋 (鳥取市)
㉑山陰古本屋 (鳥取市)
㉒山陰古本屋 (鳥取市)
㉓山陰古本屋 (鳥取市)
㉔山陰古本屋 (鳥取市)
㉕山陰古本屋 (鳥取市)
㉖山陰古本屋 (鳥取市)
㉗山陰古本屋 (鳥取市)
㉘山陰古本屋 (鳥取市)
㉙山陰古本屋 (鳥取市)
㉚山陰古本屋 (鳥取市)
㉛山陰古本屋 (鳥取市)
㉜山陰古本屋 (鳥取市)
㉝山陰古本屋 (鳥取市)
㉞山陰古本屋 (鳥取市)
㉟山陰古本屋 (鳥取市)
㊱山陰古本屋 (鳥取市)
㊲山陰古本屋 (鳥取市)
㊳山陰古本屋 (鳥取市)
㊴山陰古本屋 (鳥取市)
㊵山陰古本屋 (鳥取市)
㊶山陰古本屋 (鳥取市)
㊷山陰古本屋 (鳥取市)
㊸山陰古本屋 (鳥取市)
㊹山陰古本屋 (鳥取市)
㊺山陰古本屋 (鳥取市)
㊻山陰古本屋 (鳥取市)
㊼山陰古本屋 (鳥取市)
㊽山陰古本屋 (鳥取市)
㊾山陰古本屋 (鳥取市)
㊿山陰古本屋 (鳥取市)

【お問い合わせ】
日野町図書館 友の会
〒682-1300
日野町山本 2-1-1

第31回鳥取県図書館大会

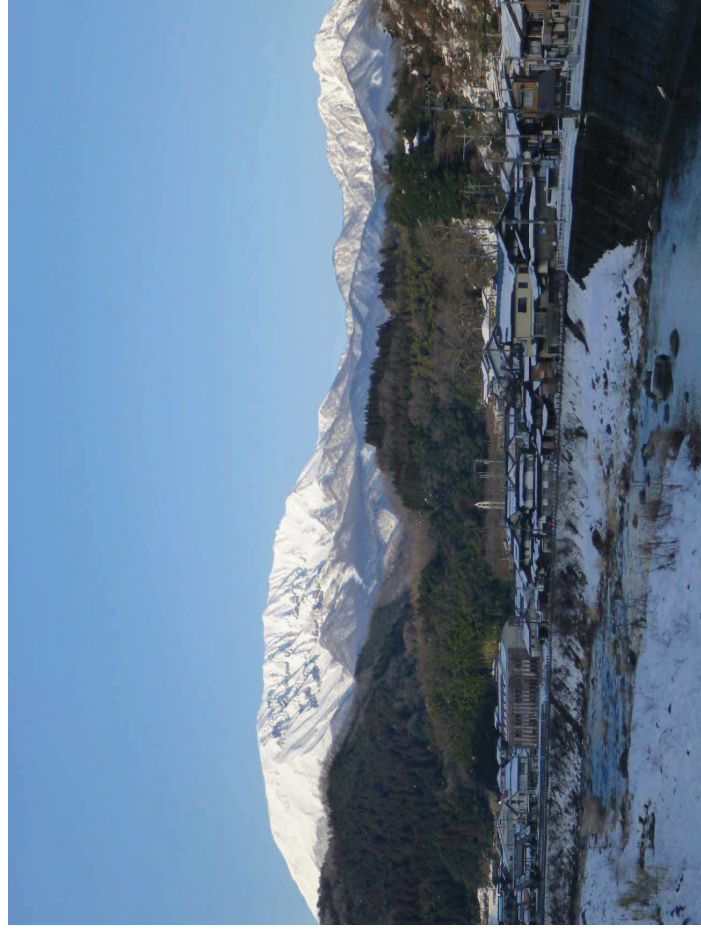
“私たち”と図書館～図書館応援団の活動報告～

2026年7月30日(木)

於 岩美町中央図書館

江府町図書館 友の会

世話人 代表 前川 仁三夫



鳥取県日野郡江府町

◇2,389人(令和8年3月31日現在)
◇高齢化率 49.1%(令和2年国勢調査)

1974年 自然保護憲章発祥の地
2009年 環境王国 認定
2023年 奥大山自然塾開校



前川のこと

- ・2014年4月に関西から妻の実家に移住
- ・米つくりと畑仕事、そしてマキづくりが日常の暮らし
- ・地域活動への参加
- ・経歴：受変電設備の製造、設計、品質保証
- ・ボランティア：地域の外国人市民の支援
- ・行政との協働：国際交流協会設立 理事・事務局長
- ・図書館は移住者の前川にとって安心できる居場所

友の会 結成のきっかけ

- ・図書館協議会委員への応募 委嘱される
- ・「江府町図書館が鳥取県ナンバー1」を知ることになる
職員数・資料費・開館日数 など
- ・ナンバー1返上のために何かできないか？

友の会について

- ・設立 2017年12月
- ・会則 2018年1月
- ・会員数 26人
- ・会費 年1,000円

江府図書館友の会 会則

名称：会の名称を「江府図書館友の会」とする。

目的：人が集まり、学び、つながる図書館づくりに寄与することを目的とする。

事業：

- 1 土日・祝日に週1回程度（不定期）、図書館の一角にカフェコーナーを置く。
カフェの運営時間は午前10時から午後3時とする。
- 2 不要になった古本を預かり希望者に提供する。
- 3 その他目的に沿う活動を行う。

会員：この会の趣旨に賛同し、積極的に参加する個人・団体とする。

世話人：個人会員のうち2人以上7人以下の世話人を置き会の運営を行う。

会計：この会の運営に関する経費は会費、寄附金、その他収入をもって充てる。

2 個人会費は年間1,000円、団体会費は年間5,000円とする。

3 この会の会計年度は毎年1月1日から12月31日までとする。

雑則：この会則に定めのない事項は世話人会で定める。

世話人：井上 康女（江府町図書館協議会委員） 前川仁三夫（江府町図書館協議会委員）

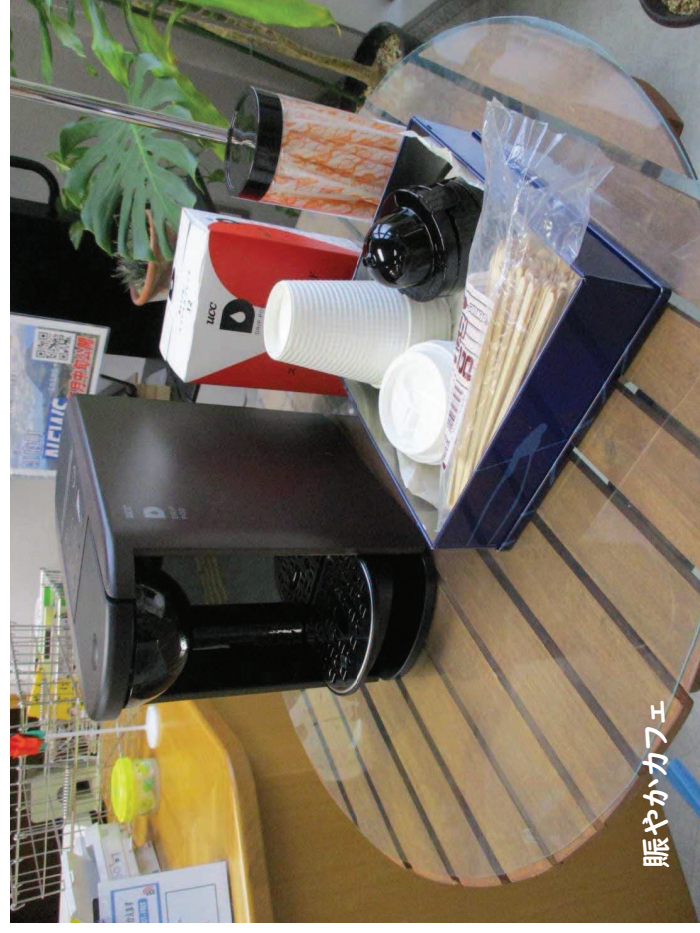
友の会の活動(1)

- 1) 賑やかカフェ開店
- 2) 研修会 様々な取り組みを知る
- 3) 奥大山ブックレビュー開催



友の会の活動(2)

- 4) 視察研修 様々な図書館や本屋を訪問
- 5) とものかい だより発行
- 6) ワークショップや懇親会など





奥大山ブックレビュー



視察研修



研修会



奥大山ブックレビュー



おわりに

- ・地域住民にとっても、私のような移住者にとっては一層のこと図書館は地域を知る大切な場だといえます。
- ・さまざまな地域資料、行政資料が閲覧できることは住民にとって必要な事です。
- ・図書館司書のレファレンスはそれを補うものとしてあります。
- ・江府町図書館はワークショップから生まれ、協議会の議論の末生まれた「つどい」「まなび」「つながる」を図書館運営の基本としています。
- ・そこから生まれる活力が、持続可能な地域を形成していくことに貢献できるよう期待します。
- ・そして、その活動の主体は住民です。その住民の活動を支える場として図書館はあるのではないのでしょうか。

今日は

このような機会をいただいたことに感謝します。

ありがとうございました。

賑やかカフェの窓辺から

先日、鳥取県の老人クラブ連合会総会に出席した。その場に県立図書館のスタッフが大活字本など高齢者に有用なものを持ってきて展示されており、最後にプレゼンもされた。私もそうだが高齢になると様々な不自由さを持つようになるが、図書館ではそれへの対応に努力されていることはありがたい。私の周りにも大活字本は全部読むんだと張り切っている人もいますし、私もサクサクとページをめくるのは快感ですらあって好きだ。

(元・賑やかカフェ店主)



奥大山ブックレビュー 〈5月23日〉 紹介本

『世界の科学が証明した絶対に考えてはいけないことリスト』 堀田 秀吾(フォレスト出版)

「考える」ということについて、まえがきの中で再確認したことが多くありました。その中でも

- ・私たちが1日に最も多く会話する相手は自分自身である。
- ・人は1日に数万回もの選択をしている。
- ・考えすぎをやめると脳がリラックスした状態になり幸運な情報に気づきやすくなる。

本書では世界中の学術研究で提案されている「考えてはいけないこと」と「考えないための方法」が紹介されています。

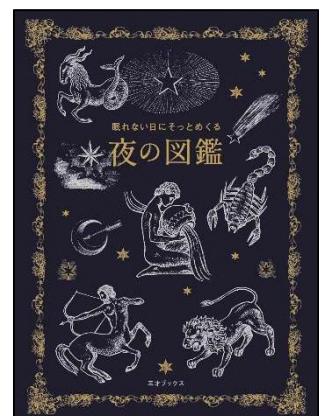
第1章①自分は周囲にどう思われているか？からはじまるリストの数々はまさに今、支えにしたい内容です。気持ちが少しラクになる、著者の表現を引用すると一時的にせよ思考をストップするきっかけになるはずの一冊です。

ちなみに最後の第6章は「考えてもいいことリスト」。個人差ありますが、1個くらい自分にあうものがみつきりそうです。

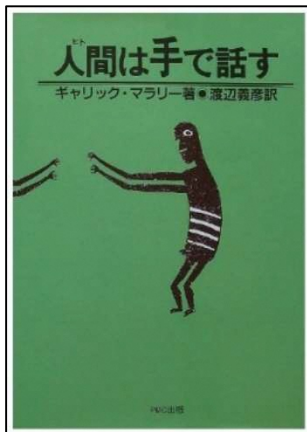


『眠れない日にそっとめくる夜の図鑑』 多田 多恵子(三オブックス)

図鑑とはいっても中身はかたい本本ではなく、「流れ星」「オリオン座」といった、夜に関係のある言葉を美しい文章で解説してくれます。それぞれのページに、1つずつ言葉がのせられていて、言葉にあった美しい写真も載っています。中には「月下美人」「プルメリア」などの花や、珍しい動物、「源氏物語」「竹取物語」といった物語の解説も。眠れない夜にめくると、美しい写真と言葉が独特の世界に引き込んでくれる本です。もちろん、夜だけでなく、明け方に早めに目が覚めてしまった時などにもおすすめです。



『人間(ヒト)は手で話す』 ギャリック・マラー(PMC出版)



「人間は手で話す」このタイトルに惹かれた。私は常々ヒトは言葉が生まれる前はどのようなコミュニケーション手法を使っていたのかに興味があった。アフリカから発した人類はその後地球上に広がり、何千もの言語を使うようになった。そして“国”ができ、文字が出来てきたことが人類の発展をもたらしたといえる一方で、失ったものも多い。そして今、私たちは核の恐怖の前に慄いている。

＊これは1881年米国スミソニアン協会民族局から発行された論文である。「身振り語の歴史・理論と現代における使用」「北米インディアンの手話の研究」「コレクションより」の3部に分かれている。

『思いがけず、朝子ちゃん』 高村 有/作 セキ やよい/絵(童心社)



深山朝子 25 歳。人間関係のストレスから会社をやめて、本屋とか喫茶店がない母の地元の浅間山が見える町で祖母の花屋を手伝うことになった。そんな朝子と、花を通してゆる～くつながる小 6 から中 2 の 5 人、美月、みちる、莉子、ふみか、晴臣の、それぞれ日ごろの悩みや思いがあふれ出す 5 つの物語。花言葉もそれぞれの物語で一歩進むカギとなっている。彼らと同じ年頃の人はずいぶん読んでみてほしい。

では、何が「思いがけず」なのか、それはエピローグでわかる。

最初は、子どもって希望と未来しか持ち合わせていないようなまぶしい存在だと感じていた朝子。この町で過ごした 1 年の間、朝子には思いがけない出会いがそこかしこにあった。

朝子は思う。花や植物とは不思議な素材。だれかと出会ったり、心動かされる瞬間・風景を見つけたとき、そのときめく気持ちをどんどんふくらませていくものだと。今、朝子の毎日はときめきに満ちている。

『十二人の手紙』 井上ひさし(中公文庫)



すべて書簡で書かれた短編集で、その中の一篇「赤い手」を紹介しします。書かれた時代が色濃く反映された内容なので、今とは異なった価値観がありますが、その斬新な手法には目を見張るものがありました。

出生届から始まり各種の書類から通知、死亡届までが羅列されているだけなのですが、そのみで主人公の人生の軌跡が一目瞭然にわかるのです。

身の回りの様々なことが便利になったように見える現代ですが、何か大切なものを無くしているような気がしてなりません。高度成長期の日本が懐かしいと思える本を読んでもみるのも、また良いのでは。この本の主人公もまた時代の波に翻弄されながら、懸命に生きた人だと思いました。

江府町図書館協議会に出席して

5月28日に、2026年度(令和8年度)第1回図書館協議会があり出席した。多くの報告事項があり、委員による自由討議がなされた。

書籍などの貸出冊数は増えているが、年齢層により大きな違いがあった。特に低年齢層において読書離れが気にかかる点であった。一方、SNSなど電子媒体の利用は若い世代で増加しているようだ。広い意味で「情報」にどのようにアクセスするかが大切で、媒体は本であれ電子機器であれ良いのではないかと私は思ってしまうが、そうでないかもしれない。

協議会の傍聴や議事録の整備、公開などが昨年の協議会で議論され整備された。傍聴が可能になったことをホームページで提示されていたようで、傍聴者が来られた。住民の方が図書館行政に関心を持ってくださることは大いに歓迎したいと思う。

話題になったのが会計年度任用職員という立場についてであった。私は「一年ごとの契約だそう」だ」ぐらいの認識であったが、毎回試験があるらしい。詳しくは知らないが、昨年の図書館職員がひとり再契約できなかった。司書として意欲を持っている方だと思っていたのに、残念なことになった。

役場の職員の皆さんは、小さな町にとって大切な人たちだと思う。それが会計年度任用職員という制度のためによくわからないが、職員のインセンティブを削いでいるのではないかと心配している。

私が協議会委員となったのは2017年のことだった。公募があり、応募して委員になり9年目になる。その後について、今後書いてみたいと思っている。

(江府町図書館友の会・世話人代表 前川二三夫)



「憩いの場」としての図書館

学生の頃、図書館で集中して勉学に励んだという方も多いことでしょう。今でも受験シーズンや長期休暇中など、図書館で勉強する学生の姿が見られます。10年以上前では考えられないことかもしれませんが、(あくまでも「江府町立図書館の場合」ですが)現在では図書館を「趣味の集まり」の場所として使う姿も見られるようになりました。

仲間と共に囲碁や手芸、共通の趣味の語らいを楽しむ様子は、「新しい風」とでも言いましょうか、図書館という場所の可能性を感じられて嬉しくなります。



* 次回の定例イベントは、6月13日(土) 開催です *

〔奥大山ブックレビュー〕

読んだ本を1冊7分で紹介する会です。誰でも自由にご参加ください。

〔時間〕 午後1時30分から 〔場所〕 図書館 1階テーブル

〔めぐる古本〕

あなたから、だれかへ。誰かに読んでほしい本を集めた、1コイン古本市です。

〔日時〕 ブックレビュー開催日の午前10時～午後3時 〔場所〕 図書館カウンター前

湯梨浜町にある

「汽水空港」って本屋さん、 知っちゃう？

定員
15名

参加
申込制

参加
無料

湯梨浜町に「汽水空港」という独立系書店があります。
古い民家を借りて、DIYをしながら開店しました。
「汽水空港」って店名が不思議ですね。
名前の由来や、店主・森さんの思いなど、そして活動などを伺います。

主 催 江府町図書館友の会

共 催 江府町立図書館

日 時 2026年7月16日(木) 午後1時～3時

会 場 愛ベルこうふ(江府町防災・情報センター) 1階 自主防災室

講 師 森 哲也さん 《汽水空港店主、湯梨浜町議会議員(2025年～)》

インタビューー 前川 仁三夫 《江府町図書館友の会 世話人代表》

汽水空港



お申し込み先

電話1 : 0859-75-2005 (江府町立図書館/月・第4木 休館)

電話2 : 080-4023-8329 (江府町図書館友の会 代表)

QRコード : 参加申し込み用フォーム



江府町図書館友の会 とものかいだより No.58

賑やかカフェの窓辺から

大阪へ出かける予定があり根雨駅へチケットを買いに行ったが、駅員さんが居なくなり「みどりの窓口」が自動販売機になっていて困ってしまった。なので後日、米子駅で駅員さんに親切にもらい購入できた。

6月20日の日本海新聞に次のような見出しを見つけた。「町づくりに駅舎をどう活用」松崎駅で社会実験とあり読んでみると、7月16日の友の会研修に講師として来ていただく森さん(汽水空港店主)が関わっているのが驚いた。記事によればJR西日本は施設更新コスト削減のため、無人駅を対象に駅簡素化の検討を進めている、とのことだった。ああ！根雨駅もそういう流れの中にあるのかとがっかりした。(元・賑やかカフェ店主)



奥大山ブックレビュー〈6月13日〉紹介本

『和のなるほど図鑑』 みっけ (インプレス)

デザイナーのみっけさんの図鑑シリーズ「和のなるほど図鑑」という本です。日本語が大好きな作者のかたが、古くて新しい言葉を綺麗なイラストと共に集めた優しい図鑑です。おぼろげに知っていたけど、深い意味まで知る事のなかったものの名前ひとつひとつが、四季折々の風景と共に美しく散りばめられています。何回見てもその都度新しい発見があり、とても楽しい図鑑です。

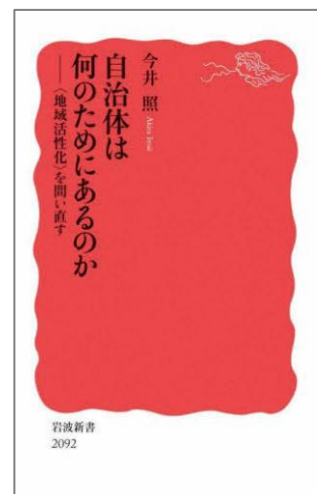


『自治体は何のためにあるのか』 今井 照 (岩波新書)

2000年に施行された地方分権一括法によって国と地方の関係がこれまでの「上下、主従」から「対等、協力」へと見直された。ところがその後の実態は中央集権に回帰しているのではと著者は言う。

「地方創生」の名のもとに、国は次々に事業の例示をして自治体に計画策定を求める。それを国が認めてお金を出すようになってきた。つまり、地域の生活や地域社会で起こる課題から計画を立てるのではなく、国の例示に合わせて計画策定をする構造に問題があると指摘する。

表題の答えは「今日と同じように明日も暮らし続けられることを市民に補償する」と著者は明快に答える。多くの人に読んでもらいたい書である。



『つながり続けるこども食堂』 湯浅 誠（中央公論社）



だれがやってもいい。だれが行ってもいい。どこではじめてもいい。どんな形だっていい。おいしくてたのしくて。いつもだれかがそこにいて。ヒナタにいるみたいにふしぎと元気がわいてくる。そんな居場所がある幸せを全力であたりまえにしていこう。そんなやさしい未来をつくれたら、毎日はずっとステキになると思う。（NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ HP より）

今、こども食堂が全国各地に広がってきています。江府町にもあったらいいなあ♪子どもを中心に大きな家族のように多世代が集う居場所、始めてみませんか？

『自作 DIY で 1200 日の車中泊 軽バン生活』 軽バン生活（玄光社）



キャンピングカーや軽バンでの日本一周に憧れるすべての人へ贈る、最強の車中泊実用書です！ 本書は、コロナ禍で留学が中止になり「これからどうしよう」という窮地から、移住先探しを兼ねた日本一周の旅を始めた著者二人のリアルなノウハウが詰まった一冊。突然のピンチを前向きな挑戦に変え、未来を切り開いていく姿に「私もこんな二人みたいになれば素敵だろうな」と心から憧れてしまいます。最大の読みどころは、もともと 38 万円で購入した中古の商用軽バンを、住みやすさを最大限に考えて木目調に仕上げる「自作 DIY」の全手順。DIY の順序や工夫のすべてが解説されており、初心者でも

挑戦したくなるアイデアが満載です。さらに、実際の暮らし方、気になるお金のこと、大正解だった神アイテムなど、バンライフを始めるための現実的な情報が網羅されています。旅の観光スポット、銭湯、グルメに加え、車内で手軽に作れる「車中飯」のレシピまで徹底解説。ノウハウだけでなく、一歩踏み出す勇気ももらえる、これから車中泊や車旅を始めたい人に 100%役立つ実践ガイドブックです。

『プラハの春』 春江一也（集英社）



ご記憶の方もおられると思いますが 1968 年「プラハの春」という言葉に心揺さぶられた一人だった。現代の強国の暴力による支配が広がっているが、今、この本を手にとって読み始めている。著者は日本政府の外交官で外交や権力闘争を間近に見てこの本を書かれたと思う。フィクションとノンフィクションが入り混じっていて冷戦の時代状況を色濃く表している。そのあたりも面白いが、その中にロマンスがちりばめられており、またこれがドキドキ・ハラハラする。まだ半分しか読めていなくて、これからソビエト連邦を中心としたワルシャワ条約機構軍の軍事介入でプラハが蹂躪されることになり腹立たしく、読み続けるのが心苦しい。と同時に、それ以上にロマンスの行方が気になってしかたがない私だ。

江府町図書館協議会に出席して(2)

私が協議会委員となったのは 2017 年のことだった。公募があり、応募して委員になり 9 年目になる。協議会で当時、江府町立図書館は鳥取県一番というのが沢山あることを聞いた。資料代(購入書籍など)が少ない。職員が少ない。カウンターには一人しかいなかった。ただ教育委員会事務局も同じ建物にあり月曜日から金曜日までまったく一人というわけではなかったが、といって司書の仕事をするわけではなかった。土日になるとまったく司書一人であった。休館日は年末年始だけという開館日数鳥取県一番だった。協議会で実情を聞いた私は、司書一人での勤務時間の土日のいずれかにカフェをするのはいかがでしょうかと提案した。そして図書館協議会と図書館の了解を得てはじめることになった。

お客さんが無ければゆっくり読書をすればいいやぐらいに考えていたが、数名の常連さんもでき移住者にとって大事な江府町情報を教えてもらえる場になったのはありがたいことだった。

(江府町図書館友の会・世話人代表
前川二三夫)



「憩いの場」としての図書館(2)

図書館の児童文学コーナーが、「ブラリースペース」という愛称を得て生まれ変わりました。カーペットが敷かれ、大きなクッションが置かれ、靴を脱いでのんびりくつろぐことができます。児童文学の棚があることは変わりがないので「子どものための空間」という印象ですが、平日の放課後以外は利用者が少ない場所。空いているときには、おともも気兼ねなく足を伸ばせる穴場かもしれません。

天井を夜空のように飾っている月の写真は、鳥取県内から撮影されたものだそう。テーブルがないのでコーヒーマシンの持ち込みはできませんが、すてきな空間ですので、ぜひ覗いてみてください。



* 次回の定例イベントは、7 月 18 日(土)開催です *

〔奥大山ブックレビュー〕

読んだ本を 1 冊 7 分で紹介する会です。誰でも自由にご参加ください。

〔時間〕 午後 1 時 30 分から 〔場所〕 図書館 1 階テーブル

〔めぐる古本〕

あなたから、だれかへ。誰かに読んでほしい本を集めた、1 コイン古本市です。

〔日時〕 ブックレビュー開催日の午前 10 時～午後 3 時 〔場所〕 図書館カウンター前